

令和5年度 東区障害者自立支援連絡協議会 全体会第**2**部

～活動の振り返りから私たちの目指す東区ってどんな街？～

東区障害者基幹相談支援センターサテライト 鈴木 祥子

東区の協議会って・・・？

- 組織図参照（総会資料P18）
 - 構成団体名簿参照（P15～16）
- 部会以外の活動について
- 課題として挙げたことについて、委員会や部会で検討する場を作っている。
- 昨年度から変わったことについて
- 居宅介護部会→事業所連絡会
 - 障害を知る**DAY**の取り組み
 - 就労部会→事業所連絡会
 - 精神保健福祉研修会
- *すべての事務局として、基幹相談支援センターが担っている。

東区障害者自立支援連絡協議会の部会紹介

- 防災部会
- 児童部会
- 相談支援部会

防災部会の取り組みと地域課題

○令和4年度の活動について

- ・ 毎月1回の部会開催。
- ・ 3つの柱（①安否確認訓練の実施、②研修会、③総合防災訓練の参加）について部会内で検討。

①安否確認訓練の実施（年2回）

②研修会（年1回）

③総合防災訓練の参加、福祉避難スペースの確認（年1回）

どんな課題が出ているのか・・・

①安否確認訓練

- ・区内構成団体は増加しているが、参加事業所が増えない。新規参入事業所への周知ができていないのではないかと。周知と説明についてどうしていくか。
- ・在宅の障害者への周知について。

②研修会

- ・当事者参加について、現地に行けない方が多い。在宅の障害者に向けて発信していく必要がある。→防災についてのミニ動画を作成し配信予定。

③総合防災訓練の参加、福祉避難スペースの確認

- ・福祉避難スペースの広さ、配慮等について学校への周知ができているのかどうか。
- ・人口増加に伴い、教室の不足→継続的な福祉避難スペースの確保ができなくなる可能性あり。

児童部会の取り組みと地域課題

○令和4年度の活動について

- ・ 部会としては、2ヶ月1回で開催。（ペアレントプログラム：6回も含む）
- ・ ペアレントプログラムの開催（区内の保護者・支援者対象）
→協議会事業（予算化）・地域での活動としての位置づけ
- ・ 他部会（就労部会）との交流

どんな課題が出ているのか・・・

○ペアレントプログラムの開催について

○他部会との交流（就労部会）

○各事業所での課題の共有と解決に向けての取り組み

相談支援部会の取り組みと地域課題

○令和4年度の活動について

- ・ 毎月1回の部会開催。
- ・ 他部会、他事業者との交流、意見交換。
- ・ 勉強会、事例検討会の開催。（令和4年度のテーマは意思決定支援）
- ・ 地域課題の抽出。

どんな課題が出ているのか・・・

○就労部会との意見交換

- ・「基本相談とは」・・・計画相談支援が始まって10年経っても周知されにくい現状がある。基準がなく事業所によって異なる。

○ヘルパーとの意見交換

- ・人材不足の現状把握と情報共有。課題解決の検討・・・。障害と介護の違い。

○いきいき支援センターとの交流会

- ・8050問題、当事者の高齢化、障害福祉→介護保険への移行、それぞれの制度の違いについて。
→同じ内容を繰り返している。理解促進につながっている？

どんな課題が出ているのか・・・

○名古屋市への地域課題抽出

- ・ 部会として初めての取り組み。
- ・ 多岐にわたる課題。個別支援から出てくる課題の抽出→部会で話し合い共有することで、地域課題へと認識が変わった。
- ・ 区外、市外にわたるケース対応。

※個別課題→地域課題へ。地域課題を検討することで、当事者の暮らしをより良くするまちづくりにつながる！

* 相談支援事業所の相談員が多岐にわたる支援をしている現状。

* 障害児相談を受けられる事業所が少ない。

* 一人職場、ケースの多さ・・・